

10・21 変えよう！日本と世界

— 反戦・反貧困・反差別共同行動 in 京都 —

2012年10月21日(日)午後1時30分から 京都・円山野外音楽堂

【 原発と基地 プログラム 】

司会(集会実行委) 高橋幸子、江口慶明、藤井悦子

1:25□開会

1:30□主催者あいさつ 仲尾 宏(反戦・反貧困・反差別共同行動(きょうと)代表世話人)
□連帯あいさつ 大阪/戦争あかん!基地いらん!2012関西のつどい実行委員会
東京/経産省前テント村

1:47■特別あいさつ 武藤 類子(福島原発告訴団団長)
【福島原発事故の責任をただす】

2:07□報告 長谷川羽衣子(STOP☆大飯原発再稼働 現地アクション 代表)
□あいさつ 福井から/大飯原発の地元より
★カンパ アピール

2:20□国会報告 服部 良一(社民党・衆議院議員/脱原発・自然エネルギー推進プロジェクトチーム事務局長)

2:30■公演(歌) 趙 博(浪花の唄う巨人) — 「核々死か慈か」

2:45■特別あいさつ 山城博治(沖縄平和運動センター・事務局長)
【オスプレイ普天間基地配備と日米地位協定】

3:05■講演 金子 勝(慶應義塾大学経済学部教授)
【時代を問う—変えよう!日本と世界】

3:50□集会決議 山本 純(集会実行委)

3:55□行動提起 寺田道男(集会実行委)

4:00★インターナショナル

デモ出発(円山公園~四条通~河原町通~京都市役所前・解散)

金子 勝 慶應義塾大学経済学部教授。専門は、制度経済学、財政学、地方財政論。経済理論学会所属。『反経済学 市場主義的リベリズムの限界』(新書館)、『新・反グローバリズム 金融資本主義を超えて』(岩波現代文庫)、近著では『「脱原発」成長論 新しい産業革命へ』(筑摩書房)、『原発は不良債権である』など多数。

山城博治 2004年4月、自治労沖縄県本部副委員長就任(県職労出身)。以来、沖縄平和運動センター事務局長、米軍基地の県内移設に反対する県民会議事務局長、全国基地問題ネットワーク事務局長等を兼任し、反戦平和運動に精力的にとりくんでいる。

武藤類子 福島県三春町在住。版下職人、養護学校教員を経て2003年里山喫茶「椽」を開く。チェルノブイリ事故以来原発反対運動に携わり、2011年は「ヒロアクション福島原発40年」として活動を予定していた。福島第一原発事故発生以来、住民や避難者の人権と健康を守る活動に奔走している。

【主催】第6回 反戦・反貧困・反差別共同行動in京都 実行委員会

集会宣言（案）

いま、日本社会の奥深くから、変革への熱い想いが吹きだしてきている。炎天下の7月16日、反原発・脱原発を掲げて17万人の人々が代々木公園を埋め尽くし、7月29日には国会を包囲した。9月9日の沖縄では、オスプレイ配備に反対して10万人を越える結集で県民大会が開催された。そして、このような広範な闘いの中から、新たな大衆的実力闘争、非暴力・不服従の闘いが開始されている。どしゃぶりの雨の中で若ものたちを中心に大飯原発前封鎖・占拠闘争が果敢に闘われ、沖縄ではオスプレイ配備を阻止するために普天間基地を封鎖するという画期的な闘いが組織された。私たちはいま、巨大な変革期の始まりに立っている。それは、アメリカ・ウォール街占拠闘争など世界各地の民衆の新たな闘いにつながるものであって、資本主義の深まる危機と新自由主義グローバリゼーションによる貧困・格差の拡大に抗する、世界的な普遍性と同時代性をもつものなのだ。

このような民衆の闘いに対して、3年前に成立した民主党政権はますます敵対を深めている。労働者派遣法の抜本的改正など新自由主義政策からの転換をめざした諸政策はことごとく投げ捨てられ、消費税の増税が強行されようとしている。野田政権は普天間基地の辺野古移設やオスプレイ配備の強行など、日米同盟を基軸とした日本の戦争国家化を推進してきた。そして、口先だけで「脱原発」を唱えつつ、停止中の原発の再稼働と核エネルギーサイクルの維持、原発輸出など原発推進へと向かおうとしている。他方で自民党は党内右派を代表する安倍・石破体制を編成し、橋下・維新の会も「政権獲得」をめざして国政に進出しようとしている。次期総選挙をもって、きわめて反民衆的で好戦的・排外主義的な政権が登場し、これとの正面からの闘いが迫られていく可能性が高まってきているのだ。

このような中で、私たち民衆の闘いもまた新たな飛躍を求められている。基地も原発もない人らしく生きられる社会をつくりだすために闘おう。

その主体は、一人ひとりの民衆であり、その闘いなのだ。停止中の原発の再稼働を阻止し、大飯原発を停止させよう。福島原発告訴団を支援し、被曝を強制されてきた福島ををはじめとしたすべての人々の闘いに連帯しよう。11月11日の東京占拠100万人行動と関電本社大包围闘争の成功をかちとり、即時原発ゼロに向けて来年3月の大闘争を準備しよう。原発に依存しないおおい町・若狭をめざす闘いを支援し、高浜原発再稼働を阻止しよう。オスプレイ配備に反対し、普天間基地閉鎖・全基地の撤去に向かう沖縄の闘いに連帯しよう。岩国基地の大強化・愛宕山米軍住宅建設に反対し、オスプレイの運用拠点化と対決する岩国の闘いに連帯しよう。日米合同軍事演習反対！10・27 あいば野集いに総結集しよう。憲法審査会解体、憲法九条改悪を阻止しよう。市場原理にもとづく競争と自己責任ではなく、連帯と共生にもとづく新たな社会をめざす闘いをともに推進しよう。

大切なことは、この社会を根本的に変革するために結束し、ともに闘うことにある。反原発運動、反戦反基地運動、反貧困運動、反差別運動、そして労働運動や市民運動・青年学生運動などそれぞれの運動を結びつけていこう。そのためにも、排外主義との闘いがますます重要になってきている。釣魚諸島（尖閣諸島）や独島（竹島）の領有権をめぐる排外主義煽動・領土拡張主義と対決しよう。国境や民族による民衆の分断と対立ではなく、国際的な連帯と共同の闘いを推進しよう。日本によるアジア植民地支配と侵略戦争の過程での釣魚諸島・独島の略奪の正当化を許してはならない。私たちは、いまこそインターナショナリズム、国際主義の旗を高く掲げなければならないのだ。ともに闘おう！

10・21 第6回 反戦・反貧困・反差別共同行動in京都
賛同人・賛同団体/賛同店

【賛同人】青木 健、芦名定道、味岡理一、安部哲多、天野 澤、天野 博、荒井康裕、荒金洋子、五十嵐 守、池内光宏、井坂洋子、市原康夫、伊藤公雄、伊藤俊郎、稲村 守、井上加代子、井上信子、今泉正臣、岩津雅典、岩野政樹、岩本敏治、岩本昌美、上田警志美、上野武人、牛尾国彦、宇城順子、後 義輝、内富 一、江口慶明、江原和子、海老沢 徹、岡田雅宏、大菅 新、大須賀 護、大濱冬樹、大野ひろ子、大湾みどり、大湾宗則、翁長晴永、翁長洋子、落合祥義、恩地庸之、海藤壽夫、垣沼陽輔、笠村正人、笠村容子、片山昌伸、兼光雅宏、川嶋繁夫、川嶋澄夫、河村栄三、河村宗治郎、川村 望、川村洋子、北上田 毅、北岸達夫、北里秀郎、北波紀子、木下俊子、木下広子、工藤美彌子、栗村玲子、黒石昌朗、鴻池 博、郡山修二、小多基実夫、児玉利春、小西弘泰、小林圭二、駒井高之、小山敏夫、近藤好澄、紺谷延子、齊藤 真、崎山政毅、佐々木佳継、佐々木伸良、佐藤 大、澤 隆文、嶋川まき子、徐 翠珍、白井美喜子、新開純也、杉山廣行、杉 勝利、杉原輝明、杉村昌昭、須田 稔、瀬川 勝、関 俊子、曹 貞順、高鍬多恵子、高崎庄二、高瀬元通、高取利喜恵、高橋幸子、田川晴信、瀧川順朗、武市常雄、武市菜穂子、竹内 宙、竹内正三、竹田昌弘、竹田雅博、田崎哲夫、橘 睦子、田中 徹、玉垣 勝、田村文子、知花昌一、千葉宣義、千葉洋志、塚口幸子、塚本泰史、辻 正男、角替 豊、津村 実、寺田道男、東條文規、戸梶博夫、土肥輝夫、内藤進夫、仲尾 宏、永岡浩一、中河由希夫/中川光子、中川洋子、中沢浩二、永嶋靖久、中田光信、中村在男、中森 昭、鍋島浩一、新居万太、西 明良、西浦隆男、西岡 智、西方淳子、西寺英麿、西村広宣、沼田充廣、根本 博、野坂昭生、朴 実、馬場光一、橋野高明、橋本利昭、長谷川存吉、服部良一、原田恵子、早野陽之介、菱木康夫、広瀬正明、府上征三、福山義和、藤井 聡、藤井悦子、藤本孝一郎、藤原史朗、藤原好雄、二葉晃文、古橋雅夫、星川洋史、星野征光、星野光敏、堀 義明、堀井千恵子、前田裕悟、前田正明、増野 徹、増上昭典、松田耕典、松田素二、松尾哲郎、松崎五郎、松下佳弘、松野尾かおる、松原康彦、松村美会子、松本 修、丸谷和豊、三浦俊一、水木久美子、南 徹夫、南口和代、三橋秀子、三室 勇、宮崎康人、宮崎光子、宮地洋二、宮本博志、三輪 充、村上聖子、村上隆之、村上ひとみ、望月温子、物江克男、森田恒一、森本忠紀、弥永 修、山内義廣、山下和海、山地政司、山元一英、山本姜偉、山本 純、山本 猛、山本将嗣、湯浅 進、湯山哲守、横山美樹、吉岡史朗、吉武仁貞、吉本 昇、米澤鐵志、漁野 亨、六島純雄、和田茂雄、和田康彦（敬称略）

【賛同団体/賛同店】女性会議・京都/アジア共同行動・京都/アジェンダ・プロジェクト/おおさかユニオンネットワーク/小川町シネクラブ京都/沖縄とともに基地撤去をめざす関西連絡会/沖縄・辺野古への新基地建設に反対し普天間基地の撤去を求める京都行動/沖縄物産「絵夢」/怒っているぞ！障害者切り捨て！ネットワーク関西/オリーブの会/「韓国併合」100年市民ネット/風をおこす女の会/釜ヶ崎日雇労働組合/釜ヶ崎連帯委員会/かりの会/関西共同行動/関西合同労働組合/関西合同労組大阪支部/関大校友連絡会/「ききたい つなげたい 8・6ヒロシマを」実行委員会/京都沖縄県人会/京のきもの屋・南商店/京都生協の働く仲間の会/京都「天皇制を問う」講座実行委員会/ぐるーぷ ちゃんぷる/憲法を生かす京都の会/5・3改憲阻止共同行動実行委員会/JAL闘争を支える京都の会/真宗大谷派・9条の会/消費者経済研究所/自立労働組合連合/新空港反対東灘区住民の会/戦争あかん！基地いらん！2012関西のつどい実行委員会/戦争と平和を考えるつどい/全日本建設運輸連帯労働組合近畿地方本部/全日本建設運輸連帯労働組合近畿地区トラック支部/全日本港湾労働組合関西地方大阪支部/高槻医療福祉労働組合/使い捨て時代を考える会/東西本願寺を結ぶ非戦・平和共同行動実行委員会/錦歯科診療所/日本キリスト教団京都教区「教会と社会」特設委員会/8・6ヒロシマ平和の夕べ実行委員会/阪神社会運動情報資料センター/反戦老人クラブ・京都/反戦老人クラブ・滋賀/反「入管法」運動関西交流会/パンドラディ/ピース ムーブメント/ふえみん婦人民主クラブ・京都洛友支部/平和憲法の会・京都/元町憲法9条の会/洛南労働組合連絡会議/彌光庵/和田獣医科病院

(2012年10月17日現在 賛同人210人、賛同団体/賛同店 54)

*なお、上記以外に公表を控えておられる多数の賛同人がおられます。

また、これまで賛同して下さった方で、この1年の間に逝去された方の冥福をお祈りします。

集会にあたって

全国のみなさん、今年も京都円山音楽堂でお会いする日がやってきました。今年是我们がこの運動をはじめて6年目であり、また今年は「国際反戦デー」の日でもあります。

この運動の最初の年は、自民党・安部内閣が憲法改悪を企図し、教育基本法を改悪させた年でした。それから6年が過ぎ、私たちの運動は多くの人々の共感を得て、全国各地のさまざまな反戦・反貧困・反差別の運動との連帯を実現してきました。そして今年、昨年来の脱原発運動が日本の歴史上、かつてない規模で高揚し、とどまることを知りません。また沖縄では、オスプレイの配備とその飛行訓練が、すなわちアジアでの侵略戦争の準備が進むことに対して、10万人をこえる沖縄の人びとが断固たる抗議の声をあげています。このように人びとの力強い闘いの前進がはじまっています。

他方では、「竹島＝独島」問題や尖閣列島の問題に見られるように、日本政府やマスコミは、詳細な論点を明らかにしないまま、「固有の領土」論をふりまわし、ナショナリズムを扇動しています。権力者は戦争をはじめる前に、戦争をすることに賛成する「国民」を作りだす必要に迫られ、そのためにさまざまな情報操作と、相手(国)の人びとに対する憎悪・反感・偏見をもつ「国民」を養成してきました。

さらに新自由主義の名のもとで、深刻化する社会生活・労働現場での格差が当然のことのように進められ、「競争社会」の名のもとに一人ひとりの人権が無視されています。

いま、私たちは歴史の岐路にたっています。戦争・貧困・差別を許す社会をもう一度作ってしまうのか。それとも断じて侵略戦争を許さず、未来に希望がもてる、そして人権が守られる社会を築いていくのか。どちらの道をとるべきか。答えは明らかです。私たちの世代だけでなく、未来を担う子供たち、これから生まれてくる世代のためにも、いま、すぐにでも私たちが行動をおこすべき時がきています。

今年の10月21日は、とりわけ重大かつ緊急の課題である脱原発社会の構築と沖縄の人びととの連帯を中心にすえた集会になります。そして、この場で、私たち一人ひとりが決意を固め、私たちがめざす社会に向かって、新たな行動の一步をおこす日としましょう。
(2012年10月21日)

集会スローガン

①すべての原発を廃炉に！大飯原発再稼働反対！（停止中の原子炉の再稼働に絶対反対！
関電は原発を止めろ！政府・東電は、事故の全責任をとれ！被曝労働を強制するな！放射能汚染から子どもたちを守れ！ベトナムをはじめ原発輸出をやめろ！）②米軍普天間基地の即時撤去を！オスプレイの配備反対！（辺野古への新基地・高江のヘリパッド建設反対！）③沖縄・韓国・日本国内の米軍再編反対！すべての米軍基地を撤去せよ！④イラク・アフガンから米軍は完全撤退せよ！⑤イスラエルはパレスティナ占領・ガザ封鎖をやめろ！⑥侵略戦争への道を開く憲法改悪反対！⑦アジア民衆への加害の歴史をかくすな！⑧格差社会を打ち破り、人らしく生きられる世界を！⑨あらゆる差別、排外主義に反対し、人権を確立せよ！⑩ただちに朝鮮学校へ高校無償化制度を適用せよ！⑪民衆の生活を破壊するTPP反対！新自由主義グローバルゼーションを許さない！⑫消費税廃止！税金は金持ちと大企業から取れ！

呼びかけ

反戦・反貧困・反差別共同行動(きょうと)

【世話人】 仲尾宏（代表世話人）、米澤鐵志、千葉宣義、田川晴信、府上征三、新開純也
小林圭二、高橋幸子、大瀧宗則、瀧川順朗、工藤美彌子、野坂昭生

【連絡先】 〒601-8003 京都市南区東九条西山王町1-15 三星ビル304号
NPO社会労働センター・きずな 内

【問合せ先】 Mobile 090-5166-1251(寺田道男) FAX 075-981-4121

【郵便振替】 00950-5-108500 加入者名「反戦・反貧困・反差別共同行動(きょうと)」

HP:<http://www.kyotohansen.org> E-mail 10.21hansen@gmail.com